

3年	課題分析	授業改善策
国語	<p>【情報の扱い方】 ○与えられた情報の内容を理解することはある程度できているが、情報と情報の関係性等を理解する力が不十分である。</p> <p>【韻文等における表現技法に関する問題点】 ○韻文等に用いられている表現技法に関して、基本的な内容は理解できているが、それぞれの技法の効果に関して理解できていない生徒が半分程度見られた。</p>	<p>【複数の情報を正しく読み取る能力の育成】 ○長文読解の練習問題等において、具体と抽象など、情報と情報との関係を正しく読み取る問題練習を計画的に実施する。</p> <p>【表現力の向上】 ○授業で学んだ表現技法を意識的に用いて、短歌や俳句等の鑑賞文を書いたり、互いの考えを発表し合ったりすることで、表現力の育成を図る。</p>
社会	<p>【歴史分野における基礎的知識】 ○歴史分野における基礎的知識の定着が不十分な生徒が半分以上見受けられる。</p> <p>【思考力・表現力】 ○基礎的な知識・技能を身に付けている生徒の中でも、自ら考え、それを表現する力に課題がある。</p>	<p>【視聴覚教材の活用】 ○視聴覚教材を用いて視覚的にも知識を補う。また、発問等を活用し、知識の定着の拡充を図る。</p> <p>【話し合い活動】 ○グループワークや発表、討論などの授業を増やし、表現力を養う機会を拡充する。</p>
数学	<p>【数学的な表現を用いて説明する能力】 ○全国学力調査における記述式の正答率が半数を下回っている解答が5問中4問であった。しかし、解答の正答率は国や都の正答率よりも高く、身に付けた知識を、数学的な表現で表す能力を身に付けさせることが今後の課題である。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力の育成】 ○問題に対するアプローチを自ら考える時間を増やす必要がある。生徒の様子を観察しながら、自ら考えることが難しい生徒には、見通しをもたせて取り組むように指導する。また、話し合い活動によって、問題を教え合ったり、学び合ったりして表現する力を高めていく。</p>
理科	<p>【既習事項の学習到達度】 ○1・2学年の学習内容の理解度が浅く、忘れてしまったという生徒が多い。復習確認テストによると、1年地学分野の正答率が低い。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等の問題】 ○活動時の文章表現が不十分である生徒が多い。学習した知識を組み立てて表現することができていない。</p>	<p>【体系的な知識理解の定着】 ○各単元の導入において、これまでに学習したことを再確認し、過去の学習内容と関連付けながら、学習を進めさせる。</p> <p>【ICT機器の活用】 ○eライブラリ等を利用して、様々な形式で問題演習や過去問に取り組ませる。また、授業の活動や実験結果の共有にタブレットを使い、生徒間のやり取りを多くする。</p>
英語	<p>【Writing能力の育成】 ○昨年度実施したGTECおよび英検IBAにおいて、4技能のうち、Writingの力が低く出ている。併せてReadingもSpeakingやListeningに比べると低い。</p>	<p>【単元ゴールの設定およびその達成に向けた足場かけ】 ○3年生教科書は単元ゴールに読み物教材が多く使用されている。それらを読んだうえで、自分の考えを表現することをゴールとすることで、読解を深める動機付けを図るとともに、体系的に書くことの指導を行っていく。指導の際は、構成・表現・語彙の指導を行いつつ、徐々に深い内容について表現できるように段階的に設問を難しくしていく。</p>
美術	<p>【思考力・判断力・表現力の問題点】 ○自分のアイデアを上手に表現することが困難で、作品の制作に苦手意識をもつ生徒が見られる。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力の強化】 ○タブレットや資料集、見本、その他参考資料を用い、アイデアの幅が広がるよう工夫をする。また、表現方法をいくつかアドバイスすることで自分の得意な表現方法を見出し、楽しんで制作できるよう導く。</p>
音楽	<p>【鑑賞分野における思考・判断・表現力】 ○鑑賞の分野において、感想を自分の言葉で表現するのが苦手である。曲の解説を書いて満足してしまう生徒が多数いる。</p> <p>【知識・技能の課題点】 ○定期考査の結果から、基礎的な音楽記号の知識の定着が不十分であった。単語では理解できている部分もあるが、曲の中で出てくる音楽用語への共通理解が薄い。</p>	<p>【指示を明確に行う】 ○曲を聴いて率直に自分が何を感じたか、どのような想像をしたか詳しく表現できるようにする。オリジナルの鑑賞表現ができるように指示を明確にする。</p> <p>【曲の中で表現しながら体感する】 ○音楽記号を単に暗記をするのではなく、曲の中で表現しながら感じ取ることで知識の定着をする。</p>
保健体育	<p>【思考力・判断力・表現力】 ○運動に関する用語やルール等の知識については理解しているが、その知識を用いて合理的な解決に向けて運動方法を工夫することに課題がある。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力の育成】 ○グループでお互いの動きを確認したり、タブレットで自らの動きを確認したりする機会を設ける。</p>
技術	<p>【情報の技術】 ○プロダクト技術の活用を通して、実社会におけるものづくり〔双方向性のあるコンテンツ〕や、情報モラル、個人情報保護、情報セキュリティなど技術と情報との関わりについて興味・関心をもたせることが課題である。</p>	<p>【情報の技術】 ○ICT機器等での資料・映像を活用し、ものづくりや情報について学習させる。プロダクト技術の活用で生活に身近な題材を取り上げ、ICT機器等を利用して自ら学ぼうとするよう指導する。</p> <p>○Web上のコンテンツ（NHK for school）などを利用し、家庭での補充学習に役立てる。現在の技術の課題や問題点などについて考えを深めさせる。</p>
家庭	<p>【思考力・判断力・表現力】 ○幼児に対する興味・関心の有無に個人差がある。 ○実技ではなかなか新しい個性的なアイデアを出すのが難しく、似たり寄ったりの作品になりやすい。</p>	<p>【思考力・表現力・技能の定着】 ○生徒が幼児に興味・関心をもつように、自分の幼い頃を思い出し、幼児を身近に感じられるようなまとめができるワークシートを作成する。</p> <p>○実技ではいろいろな表現方法や技能があることを調べる学習をとおして、アイデアを自分のアレンジに生かすよう導く。</p>